



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局

配布日時

平成29年8月2日

14時00分

資料配布

件名

水でつなぐ和の文化「打ち水大作戦」

～地元・沿道企業の皆さん方と江戸時代より行われている水文化(伝統文化)を継承～

概要

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会(以下「協議会」)では、流域圏の関係者や住民団体が連携し、水に触れ水を大切にすることを継ぐために、各地で和の文化である「打ち水大作戦」を行っています。

流域一斉行動の一環として、近畿地方整備局では、地元・沿道企業の皆様と一緒に「打ち水大作戦」を行います。

・日時: 平成29年8月9日(水) 16:00～16:30(雨天時延期)

予備日: 平成29年8月23日(水) 16:00～16:30(雨天時中止)

・場所: 大日駅前バスターミナル付近
(国道1号大日交差点付近)

・参加予定: 地元の皆様、沿道企業のイオン大日店、レクサス守口店、大阪トヨペット守口店、トヨタカローラ守口店、関西マツダ守口店、大阪市交通局、大阪モノレールサービス(株)の皆様及び守口市役所の方々と一緒に実施します。

※協議会は、流域圏を健全な姿に再生して次世代に継承するため、「水でつなぐ“人・自然・文化”」を基本コンセプトに、琵琶湖・淀川流域圏の再生計画に基づいて流域圏の関係機関や住民団体等が連携して具体的な行動を展開しております。

※使用する再生水は、大阪府 大阪府東部流域下水道事務所 なわて水みらいセンター提供の高度処理水です。

取り扱い

配布場所

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

問合せ先

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会 事務局

(近畿地方整備局 企画部 広域計画課)

課長 富永 安弘(とみなが やすひろ)(内線 3211)

建設専門官 澤村 学(さわむら まなぶ) (内線 3212)

TEL 06-6942-1141(代表) 06-6942-4090(直通)

水でつなぐ和の文化 「打ち水大作戦」

～地元・沿道企業の皆さん方と江戸時代より行われている水文化(伝統文化)を継承～

流域一斉行動の一環として、近畿地方整備局では、地元・沿道企業の皆様と一緒に「打ち水大作戦」を行います。

- ・日 時 : 平成29年8月9日(水) 16:00～16:30(雨天時延期)
- ・予 備 日 : 平成29年8月23日(水) 16:00～16:30(雨天時中止)
- ・場 所 : 大日駅前バスターミナル付近
(国道1号大日交差点付近)



- ・参加予定 : 地元の皆様、沿道企業のイオン大日店、レクサス守口店、大阪トヨペット守口店、トヨタカローラ守口店、関西マツダ守口店、大阪市交通局、大阪モノレールサービス(株)の皆様及び守口市役所の方々と一緒に実施します。

※使用する再生水は、大阪府 大阪府東部流域下水道事務所 なわて水みらいセンター提供の高度処理水です。

【参考】

- ・「打ち水大作戦」は、平成15年からNPO法人等で構成される「打ち水大作戦本部」の呼びかけにより、全国的にも実施されています。
(<http://uchimizu.jp/>)

◆琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会での行動

協議会では、流域圏を健全な姿に再生して次世代に継承するため、「水でつなぐ“人・自然・文化”」を基本コンセプトに、琵琶湖・淀川流域圏の再生計画に基づいて流域圏の関係機関や住民団体等が連携して具体的な行動を展開しています。

関係機関が連携した流域一斉行動の一つとして、「打ち水大作戦」を平成18年度より毎年実施しています。昨年度は約 5,730 名が参加しました。



平成 27 年度の実施状況（大日駅前バスターミナル付近前 H27.8.19）

※協議会構成機関

国土交通省：近畿地方整備局、近畿運輸局

農林水産省：近畿農政局

林野庁：近畿中国森林管理局

経済産業省：近畿経済産業局

環境省：水・大気環境局、近畿地方環境事務所

府県市：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、
大阪市、大津市

オブザーバー：独立行政法人水資源機構 関西支店 副支社長

◆琵琶湖・淀川流域圏の再生計画における「打ち水」

- 水と人のかかわりの中で育まれてきた水文化を保存継承
- 先人の体験や知恵を継承し発信
- ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境にもたらす水の有効性を再認識するために「打ち水大作戦」を実施

◆「打ち水」のポイント

- 打ち水とは、庭先や道路に水をまくことにより、地表の気温を下げて、夏の暑さを和らげようとする江戸時代から継承される日本人の生活の知恵です。
- 打ち水大作戦では、雨水や風呂の残り湯など一度使った水を使うのがルールです。
- その実施プロセスを通して、環境意識の啓発や水の再利用の促進、近隣コミュニティの再生など、様々な効果をもたらす呼び水ともなっています。
- 誰もが、手軽でたのしくできます。
- 節電への取り組みのためにも、暑いなと思ったら「打ち水」をやって、しばしの涼を体感しましょう！

打ち水大作戦2017



暑い日は打ち水で、
楽しく涼しくすごそう！

日時：平成29年8月9日（水）16時～16時30分

**会場：大日駅前バスターミナル付近
（国道1号大日交差点付近）**

**主催：琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会
《国土交通省 近畿地方整備局》**



★打ち水のポイント★

※打ち水とは、庭先や道路に水をまくことにより、地表の気温をさげて、夏の暑さを和らげようとする江戸時代から継承される日本人の生活の知恵です。

※打ち水大作戦では、雨水や風呂の残り湯など一度使った水を使うのがルールです。